

当社の中長期戦略

代表取締役社長

伊藤 文大

2008年12月8日

株式会社 クラレ

事業構造の歴史的変革

(億円)

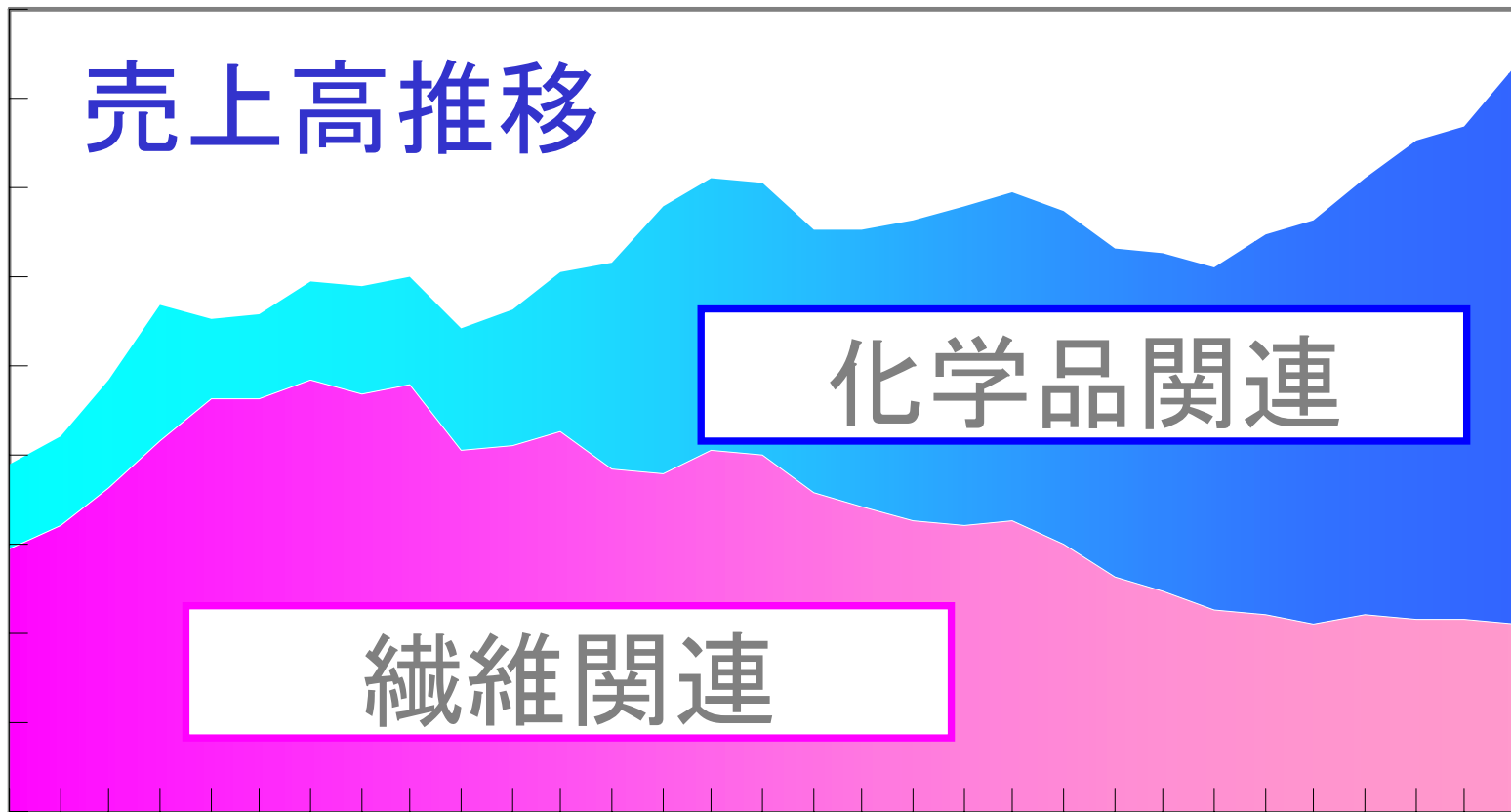
4,500
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0

売上高推移

化学品関連

繊維関連

'77 '79 '81 '83 '85 '87 '89 '91 '93 '95 '97 '99 '01 '03 '05 '07



拡大と縮小・撤退の歴史

拡大(M&A他)

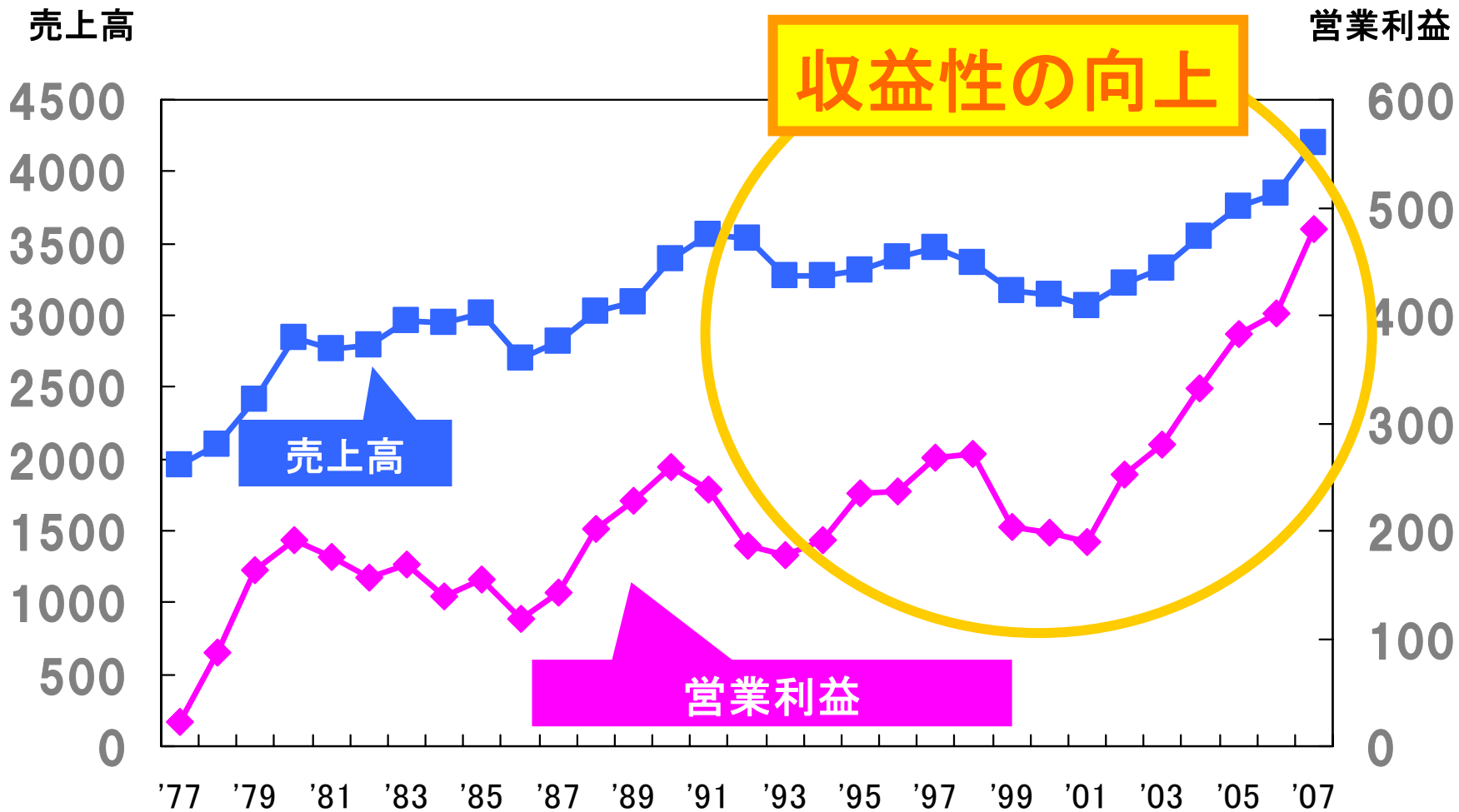
- 01.12 欧州PVA関連事業買収
- 04.12 欧州PVBフィルム事業買収
- 05.04 米国ベクトラン繊維事業買収
- 08.01 アジアホパール事業完全子会社化
- 08.07 歯科材料 欧州拠点買収
- 08.10 PVB樹脂に関する知的財産取得

縮小・撤退

- 01.10 ポリエステル長繊維縮小
- 03.04 ポリエステル短繊維縮小
- 03.12 ビタミンA生産停止
- 05.09 MMAモノマー生産合弁解消
- 05.10 コンタクトレンズ事業売却
- 06.12 リアプロジェクション関連事業撤退
- 07.10 人工透析の事業を事業移管
- 08.03 一部香料事業から撤退

売上高・営業利益の推移

〔億円〕



中期経営計画“GS-21”

〔億円〕

	08年度			
	06年度	07年度	GS-21目標	予想
売上高	3,853	4,176	4,500	4,250
営業利益	402	481	500	460
経常利益	365	428	—	430
当期純利益	224	256	—	260
ROA	8.1%	9.6%	9%	—
ROE	6.4%	7.3%	7%	—

kuraray

10年企業ビジョンへのアプローチ

売上高
1兆円

2,000～3,000億円
新事業の創出

7,000～8,000億円
コア事業のさらなる拡大

営業
利益率
15%



8年

年度

今後の環境認識

「世界の实体经济の悪化」



回復には少なくとも2~3年

**中長期的視点での
持続的成長戦略**

の姿勢を継続

酢酸ビニル系事業の広範囲な用途展開

エチレン

酸素

酢酸

酢ビ

(酢酸ビニル)

ポバール樹脂

紙加工・エマルジョン
塩ビ安定剤・繊維加工

ポバール
フィルム

液晶テレビの偏光板

PVB
フィルム

ガラス中間膜
PVB太陽光発電

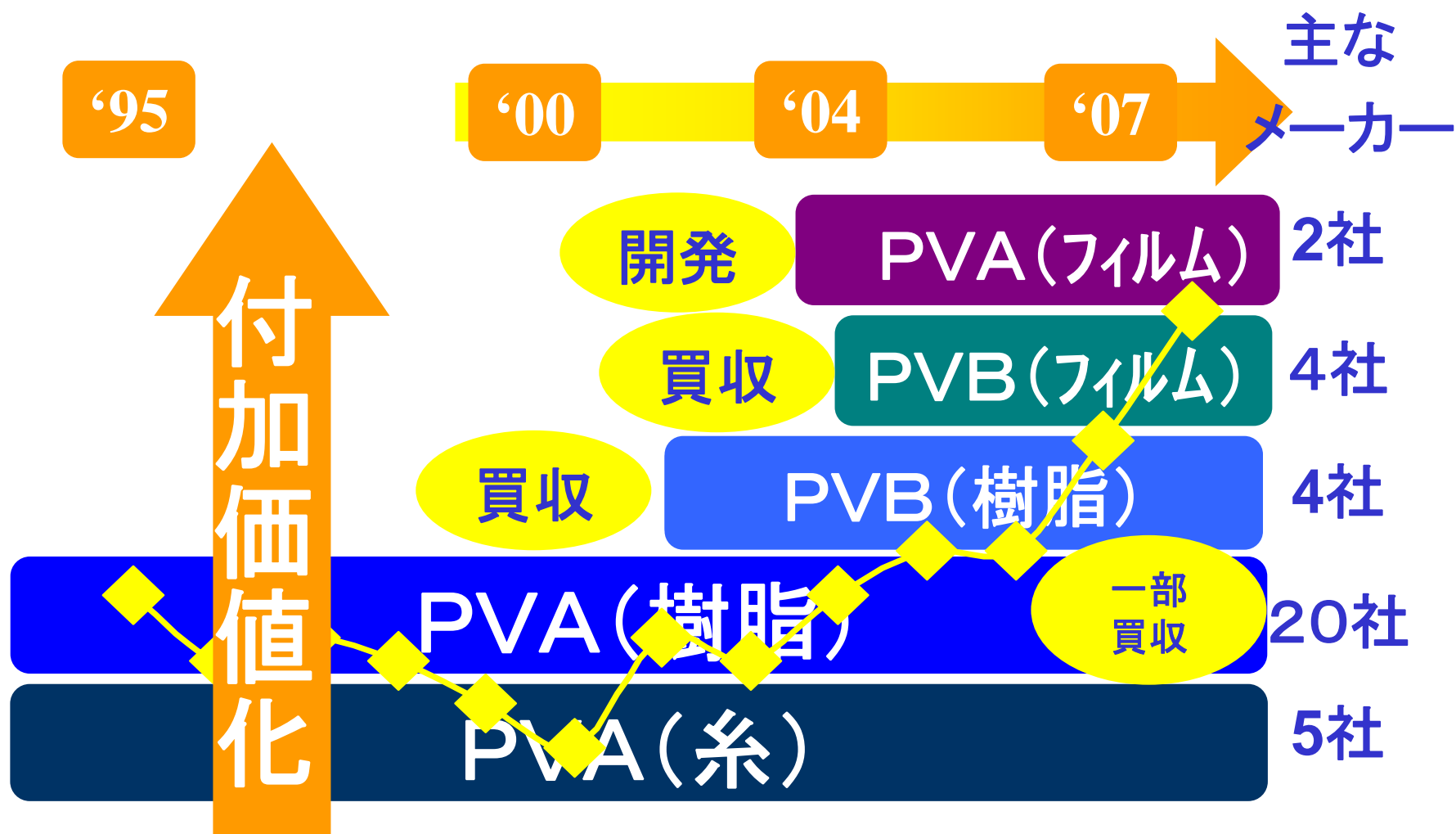
エバール樹脂

食品包装材
自動車ガソリンタンク

ビニロン
(繊維)

セメント補強材

コア事業の競争力をさらに強く

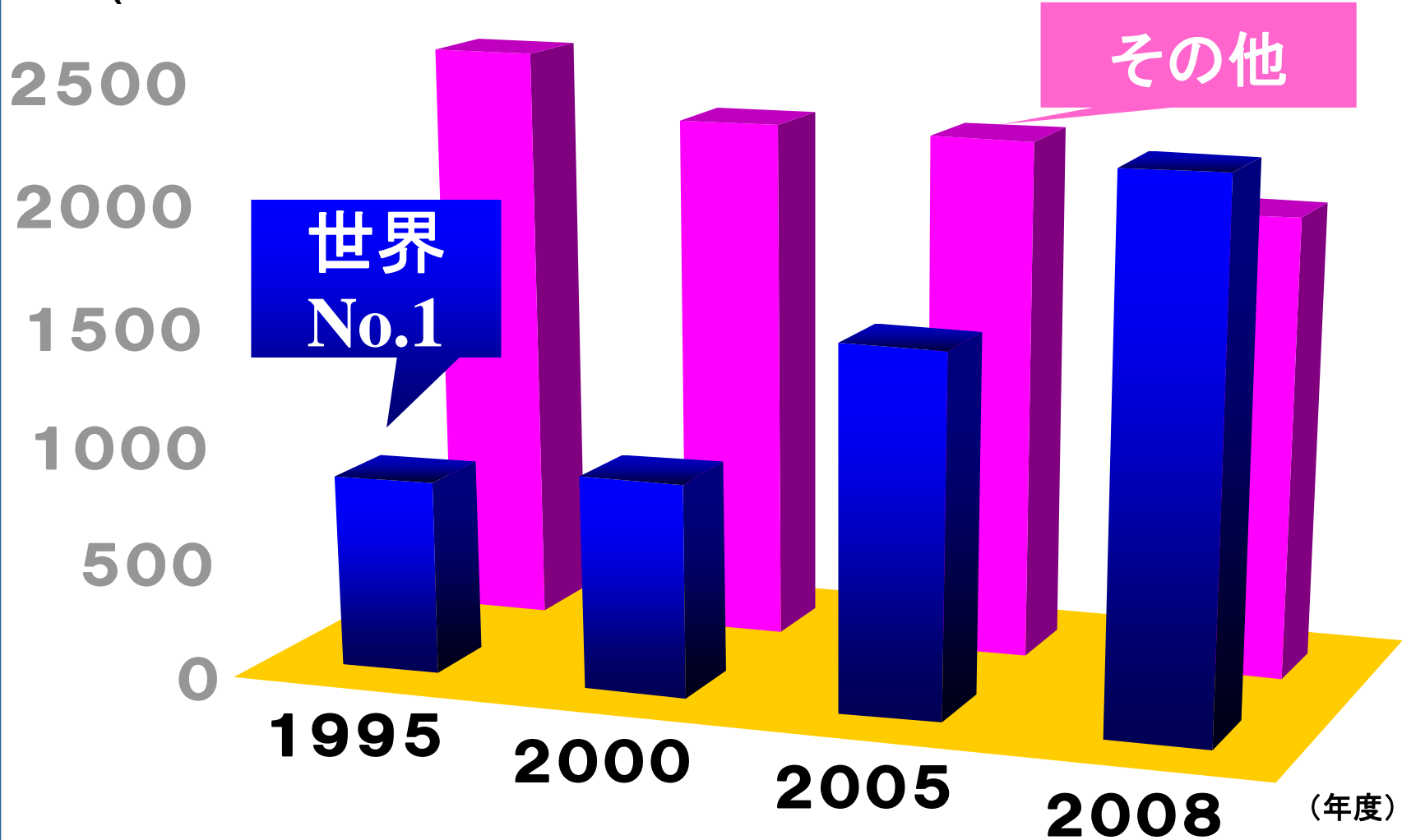


* 折れ線グラフはポパールチェーンの売上高営業利益率イメージ

kuraray

世界NO.1シエア製品の拡大

(億円)



コア事業の競争力をさらに強く

期待の大きい新興国への展開

- (1) シンガポール・生産合弁会社の完全子会社化(08年1月)と生販一体化(08年7月 KAP社として統合)
- (2) KAP社でのPVB樹脂・フィルム生産に関するフェーズビリティ・スタディ実施(08年7月開始 年内に結論)
- (3) KAP社でのPVA樹脂多銘柄化
- (4) インド現地法人の設立(08年9月設立)

kuraray

新事業の開発

環境

エネルギー

電子・光学

燃料電池部材

新規光学部材

水処理分野

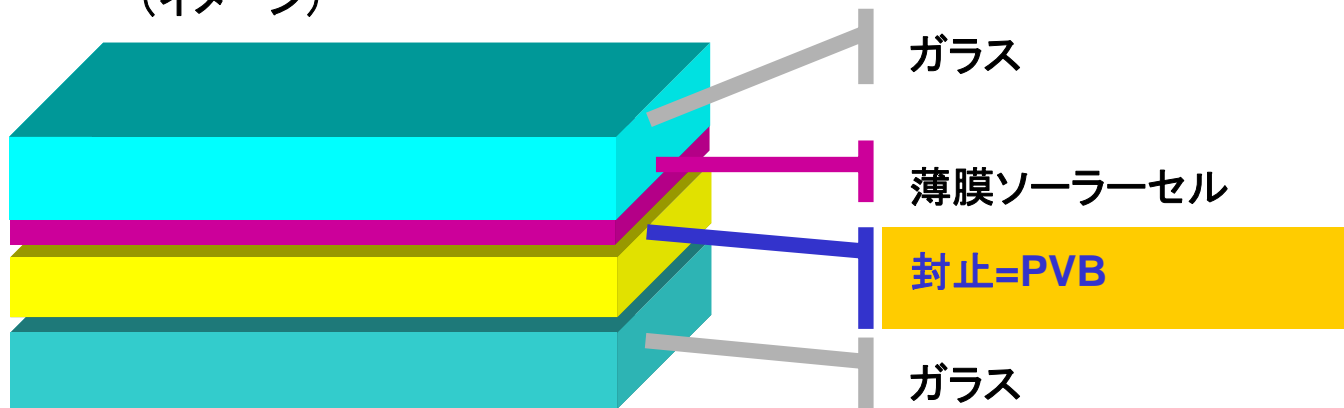
高機能エンブラ

太陽光発電分野

- 研究開発テーマの選択と集中、経営資源の重点投入をより徹底
- 昨年10月にCTOのもとで既存研究テーマの再検討、絞込みを実施 -130名を探索チームへ-

新事業の開発

(イメージ)



太陽光パネル向け PVBフィルム



水処理事業



耐熱性樹脂
〈ジェネスタ〉



透明なエラストマー
〈LAポリマー〉

kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。